

第8期西区区民会議 平成30年度 第3回会議 会議録

日 時	平成30年7月25日(水) 14:00~16:00																																
場 所	西区役所2階 大会議室																																
出席者 (敬称略) 50音順	<p>■委員：出席15名</p> <table border="0"> <tr> <td>相川 和子</td> <td>西区民生委員児童委員協議会</td> <td>浅見 峰雄</td> <td>公募</td> </tr> <tr> <td>阿泉 秀典</td> <td>三橋六丁目商工振興会</td> <td>小川 光子</td> <td>西区老人クラブ連合会</td> </tr> <tr> <td>岡田 有美</td> <td>さいたま市社会福祉協議会西区事務所</td> <td>向後 亜起子</td> <td>さわやかサロン(市民活動ネットワーク)</td> </tr> <tr> <td>寺島 篤</td> <td>西区自治会連合会</td> <td>富永 豊子</td> <td>食生活改善推進員協議会</td> </tr> <tr> <td>中里 奈々</td> <td>さいたま市PTA協議会西区連合会</td> <td>長澤 八重子</td> <td>公募</td> </tr> <tr> <td>長島 謙</td> <td>公募</td> <td>成迫 俊美</td> <td>公募</td> </tr> <tr> <td>本藤 道雄</td> <td>公募</td> <td>八巻 早苗</td> <td>青少年育成さいたま市民会議西区連絡会</td> </tr> <tr> <td>吉成 誠</td> <td>水歩会(市民活動ネットワーク)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>■事務局(コミュニティ課) 岩崎課長 小山課長補佐 原田主事 設楽主事 ■運営支援(コンサル) 山口 石川 川村 ■傍聴者 なし</p>	相川 和子	西区民生委員児童委員協議会	浅見 峰雄	公募	阿泉 秀典	三橋六丁目商工振興会	小川 光子	西区老人クラブ連合会	岡田 有美	さいたま市社会福祉協議会西区事務所	向後 亜起子	さわやかサロン(市民活動ネットワーク)	寺島 篤	西区自治会連合会	富永 豊子	食生活改善推進員協議会	中里 奈々	さいたま市PTA協議会西区連合会	長澤 八重子	公募	長島 謙	公募	成迫 俊美	公募	本藤 道雄	公募	八巻 早苗	青少年育成さいたま市民会議西区連絡会	吉成 誠	水歩会(市民活動ネットワーク)		
相川 和子	西区民生委員児童委員協議会	浅見 峰雄	公募																														
阿泉 秀典	三橋六丁目商工振興会	小川 光子	西区老人クラブ連合会																														
岡田 有美	さいたま市社会福祉協議会西区事務所	向後 亜起子	さわやかサロン(市民活動ネットワーク)																														
寺島 篤	西区自治会連合会	富永 豊子	食生活改善推進員協議会																														
中里 奈々	さいたま市PTA協議会西区連合会	長澤 八重子	公募																														
長島 謙	公募	成迫 俊美	公募																														
本藤 道雄	公募	八巻 早苗	青少年育成さいたま市民会議西区連絡会																														
吉成 誠	水歩会(市民活動ネットワーク)																																
欠席者 (敬称略) 50音順	<p>■委員：欠席3名</p> <table border="0"> <tr> <td>池田 正人</td> <td>大宮アルディージャ</td> <td>金子 志保</td> <td>公募</td> </tr> <tr> <td>金子 俊夫</td> <td>公募</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	池田 正人	大宮アルディージャ	金子 志保	公募	金子 俊夫	公募																										
池田 正人	大宮アルディージャ	金子 志保	公募																														
金子 俊夫	公募																																
次 第	<p>1. 開 会 ※報告事項 (前回会議録の確認等)</p> <p>2. 議 事 (1) 本日の会議の概要について (2) グループ別協議(意見交換) (3) その他</p> <p>3. 閉 会</p>																																
配布資料	<p>会議次第 第2回の会議録 資料1：今回の会議の概要 2：前回の会議の概要 3：これまでの協議結果と「振り返り」 別冊：さいたま市洪水ハザードマップ 別紙1：自転車シミュレータ安全教室 別紙2-A：交通事故リスク軽減チェックシート 別紙2-B：運転時認知障害早期発見チェックリスト30</p>																																

1. 開 会

- ・本日の傍聴人はいない旨の報告があった。
- ・本日の欠席者の報告があった。
- ・資料の確認があった。
- ・前回会議録の確認等の報告があった。

2. 議 事

(1) 本日の会議の概要について

- ・前回会議までの概要として、「前々回会議までで、検討の対象として予定していたものをひととおり協議したこと」「前回会議では、再検討したい項目（振り返り）について意見交換を行ったこと」を再確認した。
- ・年度末までの会議の進め方として、「振り返りを2回行うこと」、「可能ならば検討内容に即した視察を予定していること」、「その後、報告書のとりまとめを進めていくこと」などを確認した。
- ・前回の意見交換と委員アンケートの結果から、振り返りの対象となるものを確認し、そのうち提案として整理できたものの内容を確認した。
 - －「自転車安全指導シミュレーション」に関する追加提案と、東京都で実施している安全教室の事例を確認した。
 - －「地域住民が可能な、学生に対する自転車安全指導の考え方」に関する追加提案を確認した。
 - －その他の追加提案の概要を確認し、次回会議以降において適宜補足していくことを確認した。
- ・本日の会議では、「高齢者の安全運転適正チェック」を実際に体験し、「防災（水害）について、ハザードマップを使った検証」を行ってみることとした。

(2) グループ別協議（意見交換）

- ・「高齢者の安全確保」に関し、「交通事故リスク軽減チェックシート」及び、「運転時認知障害早期発見チェックリスト 30」を実際に記入してみても、チェックの結果やその内容の有効性などについて意見交換を行った。
- ・「防災」に関し、洪水ハザードマップ（荒川流域）を使って、荒川氾濫や内水氾濫時に対する避難シミュレーションを行い、日常の備えや避難時の行動、ハザードマップの使いやすさなどについての意見交換を行った。

【検討結果】

*各グループの検討結果を統合したものは以下のとおり
(意見交換の内容を暫定的に列挙したもの)

□情報入手について

→防災無線

- ・避難情報は防災無線や警報を頼るのが基本だ。
- ・防災無線は聞こえにくいという問題がある。
- ・スピーカーの位置や向きとの兼ね合いで、近くでも聞こえない場所もある。
- ・サイレンなら聞こえる。防災無線でサイレンを出せるのでは。

- ・普段は7割程度の音量で放送しているようだ。

→パソコンや携帯電話

- ・持っていない人はどうするか。
- ・ラジオ、行政からの情報、スマホの災害情報アプリ。
- ・隣近所と情報を共有できるネットワークづくりが必要。得た情報を隣近所に知らせる。
- ・人気のある「百歳体操」で集まる人を中心に、高齢者の防災ネットワークづくりの場にしていくといい。体の自由度もわかる。

□避難について

→避難するタイミングはどう判断する？

- ・高齢者宅などは、避難勧告や避難準備情報の時点で避難を開始する。
- ・どのタイミングで避難をするか、共通認識を区民全員が持つ。
- ・互いに声かけをするように隣近所同士で取り決めをしておく。
- ・5時間前には、災害予測が出る。早めに訓練のつもりで避難する。
- ・避難指示が出たら、すぐに避難する。
- ・近所で車に乗り合わせて避難する。
- ・「①防災グッズを身につけてください。」「②避難してください。」など段階的な避難指示はリアリティがあるかもしれない。
- ・自治会の班でしっかり連携をとる。リーダーの存在は大事。

→避難所はどこにある？

- ・間に合わなければ近場の3階以上に避難するしかない。
- ・3階でも構造や立地など安心できない場所もある。
- ・とにかく高い大宮台地に逃げる。
- ・どこが高台なのか知っておく。西区役所前のマルエツの2Fや指扇駅の2F部分は一時的に避難できる。

→逃げ遅れたら

- ・自分で避難できない人はいるか？
- ・逃げられない人や歩けない人などを助けられるように、日頃から自治会で訓練をする
- ・自治会・防災会から情報を提供できるようにする。
- ・近所に誰が住んでいるのか知っておく。日頃からのコミュニケーションが大事。
- ・介助が必要な人を把握しておく。民生委員が自治会に情報を伝える。
- ・以前は、自治会の連絡網があり便利だった。過剰な個人情報保護は災害時にネックになる。
- ・自分の命は自分で守るためにも、近所とのコミュニケーションを図っておく。

→取り残されたら

- ・浮くもの（2Lのペットボトルなど）と笛を持って、とにかく高いところへ行く。
- ・笛、浮き袋（膨らむ物）、2Lのペットボトル2本を脇にかかえても浮く。
- ・洪水になる前段階（大雨等）の段階で用意しておくようにする。
- ・靴を履いて、軍手をつけておく。
- ・公的な避難所だけでなく、避難できる友人を持っておくのが大切で有効。
- ・荒川近辺にある家は、かつて川舟を持っていた。
- ・古地図には、海浸の記録が古河まで広範囲にある。

□ハザードマップについて

- ・自分の家がどこなのかを探すのも一苦労だということが分かった。
- ・実際にはもっと拡大したものが必要と感じた。
- ・避難できる場所が意外に少なくショック。
- ・学校教育などで使えるように、児童向けのマップもあると良い。
- ・小学生の頃から危機意識を持つように教えることも大切。
- ・水害を想定した避難訓練は少ない。荒川のスーパー堤防を越える場合もあるはず。
- ・かつては水田が貯水池の役割を果たしていたが、今は水の行き場がない。
- ・大事な物は2Fに置いておく。

■全体での主な意見交換は以下の通り。

- 委員：今日の会議で初めて「ハザードマップ」をきちんと見る事ができたので、とてもいい機会になった。恐らく、多くの区民がきちんと見たことはないのではないかと思う。各自治会を中心に、行政と連携しながら積極的に周知していく必要があると感じた。
- 会長：8月3日に市長との懇談会があるので、いい機会だから意見交換をしてみたい。
- 委員：西区は市内でも一番水害の危険性が高い地域でもあるので、率先して体制を整えて、様々な情報を西区から発信できるようになるといいと思う。

(本日の意見交換の結果を整理し、次回以降の会議資料とする予定。)

(3) その他

- ・会長より、8月25日に開催される指扇まつりの案内があった。

4. 閉会

以上